

●同志社広報委員会小委員会委員

ABC順・〇印委員長

- | | | |
|------------------|------------|-----|
| 幼稚園教諭 | 遠藤 藤 | 稚 繪 |
| 小学校事務長 | 藤井 邦 | 邦 宏 |
| 香里中学校・高等学校事務長 | 藤井 信 | 弘 弘 |
| 女子大学生生活科学部准教授 | 平光 陸 | 子 立 |
| 〇大学神学部教授 | 石川 鎌 | 田 一 |
| 中学校・高等学校事務長 | 田 金 | 谷 益 |
| 大学文学部教授 | 川 井 | 司 道 |
| 大学政策学部教授 | 井 崎 | 清 史 |
| 女子大学薬学部教授 | 貴志 浩 | 行 史 |
| 国際中学校・高等学校事務長 | 北 幸 | 博 子 |
| 法人事務部長 | 北村 耕 | 太 子 |
| 女子大学総務部広報課長 | 小林 則 | 子 秋 |
| 大学生命医科学部准教授 | 黒坂 三 | 原 芳 |
| 大学法学部准教授 | 三宅 え | り 子 |
| 大学グローバル地域文化学部准教授 | Peter NEFF | 晃 子 |
| 女子大学現代社会学部教授 | 二瓶 眞 | 理 子 |
| 女子大学学芸学部助教 | 興津 眞 | 以 在 |
| 大学心理学部教授 | 奥田 子 | 博 人 |
| 大学経済学部准教授 | 庄子 俊 | 夫 夫 |
| 大学スポーツ健康科学部助教 | 鋤柄 角 | 谷 千 |
| 大学文化情報学部教授 | 高橋 和 | 彦 彦 |
| 大学企画部広報室長 | 田中 裕 | 一 博 |
| 大学理工学部教授 | 寺井 植 | 村 秋 |
| 法人事務部校友同窓課長 | 植村 巧 | 巧 子 |
| 大学社会学部准教授 | 瓜生 原 | 葉 子 |
| 女子中学校・高等学校事務長 | 若本 夏 | 美 子 |
| 大学企画部広報課長 | 山口 晃 | 司 晃 |
| 大学商学部准教授 | | |
| 女子大学表象文化学部教授 | | |
| 国際学院事務長 | | |

●編集協力 アルカダッシュ

●同志社時報の申し込み

- ・送料(1冊分200円)のみのご負担でご講読いただけます。
- ・お申し込みは、綴じ込みハガキをご利用ください。
- ・宛先 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入同志社大学企画部広報課

同志社時報 第138号
 編集人 石川 立
 発行人 水谷 誠
 発行 学校法人同志社
 同志社大学広報課同志社時報係
 電話 (075) 251-3120
 印刷所 日本写真印刷株式会社
 2014年10月1日発行

1864年6月14日夜半、新島襄は函館で知己を得た福士卯之吉の援助のもと国禁を冒して日本を脱出しました。函館の波止場から福士の用意した小舟を漕ぎ出し沖合に碇泊するベルリン号に乗り込みました。同志社誕生前史の開幕です。今年には新島が脱出したその年から数えて150年目に当たります。

この年は、同志社の原点とも言うべき出来事が続げざまに起こったきわめて稀有な年です。新島の出立があつただけではあ

りません。新島は家族と別れ、生まれ育った江戸から離れ、海の向こうの世界を垣間見せてくれた快風丸にもう一度乗り込んで、函館に向かいました。函館では、脱国の機会を伺う間に、ポーター商会店員、前述の福士との出会いがありました。ベルリン号のセイヴォーリー船長に助けられたのち、上海で、テイラー船長率いる商船に乗り換えます。この商船ワイルド・ローヴァー1号の船主こそが、新島の生涯の恩人、アルフェウス・ハーディーだったのです。1864

お詫びおよび訂正

前号(第137号、61頁～62頁)掲載の『「新島遺品庫より」—collection5—伝山本覚馬所用長巻』は、外部部からのご指摘により調査した結果、山本覚馬との関係性は見出しで誤記したことが判明いたしましたので、ここに訂正いたします。お詫びして訂正いたします。

す。今の同志社についても情報がいっぱいです。ご講演くださった先生方、『時報』のために筆を執ってくださいました多くの方々に紙面を借りて御礼申し上げます。(石川)